

令和2年森林環境譲与税の使途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績																				税導入の効果
		令和2年度の森林環境譲与税（千円）			森林整備関係							人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用			その他		
		森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積（ha）	間伐等実施面積			路網整備			事業体等への助成				研修、講習、求人イベント等	研修や普及啓発イベント等		その他	公共施設等の木材利用		その他						
			間伐（ha）		除伐（ha）	その他	林道・林業専用道の開設延長（m）	森林作業道の開設延長（m）	その他	事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）		参加者数（人）	回数（回）		参加者・体験者数（人）	施設数		木材使用量（m <sup>3</sup> ）	うち国産材（m <sup>3</sup> ）				
意向調査の準備作業	山林境界確定測量委託料	32,096,000		当面整備の予定がなく、過去に間伐等の履歴の無い区域において、境界確認及び簡易測量を行い、山林所有者に成果確認を実施した。								境界明確化587.04ha											その他	〇意向調査準備作業では、山林の境界が不明な箇所において、境界と林況調査を実施したことにより、整備の必要性と所有界を確認することが出来た。意向調査は、7名24haについて回答を得た。今後意向調査を進めていく中で、森林整備につながる方策を検討していく必要がある。	
担い手確保	担い手育成事業補助金	4,235,000		新規就業者への技術習得等への支援を行うと共に、町内林業者の組織化、情報交流を行う組織に対して活動費の補助を行った。								1 40												〇今後新たな就業希望者受け入れの為、指導者に対する指導研修や、町内林業者の意見交換を実施し、森林整備を担う森林技術者の育成を推進することが出来た。また担い手育成協議会に対する支援を行い、自発的な研修の実施等担い手育成に対する地域の機運を高めることが出来た。	
担い手確保	森林作業道作設研修事業	1,334,000		林業技術者の技術習得のため、町有林をフィールドとした森林作業道研修を実施した。													2 14							針葉樹林及び広葉樹林において研修を行い、作業道の作設及び伐採した樹木を利用した用材及びシヤクケ原木の造材研修も同時に行うことができ、町内林業技術者の技術向上に資することができた。	
木材・普及啓発関係	出産祝い品贈呈事業	164,000		新生児に対して、町産ヒノキを使用した玩具（積み木）をプレゼントした。																			20名分	〇大学と地元企業と町が連携して開発した玩具（積み木）を、町で生まれた新生児に対する出産祝い品として贈呈することで、幼児期から木に触れる木育を進め、森林・林業に関心を深めることが出来た。	
人材育成	森林技術者修学資金貸付金	534,000		岐阜県立森林文化アカデミーに修学する者に対して、修学資金の貸付を行った。													1名貸付							岐阜県立森林文化アカデミーに就学している者1名に貸付を行い、貸付をした者が町内林業事業体へ就職したことにより、人材確保を繋げることが出来た。	
木質バイオマス利用推進	木質バイオマス利用促進計画委託料	8,431,000		町内で稼働しているバイオマス発電所が耐用年数を迎えるため、今後のバイオマス利用促進の方向性を検討するため、利用促進計画の策定及び今後の事業の検討を行った。																			計画及び報告書一式	バイオマス発電所の採算性及び町内各地においてのバイオマス発電実施の可能性について検討を行い、今後のバイオマス推進について方向性を示すことができた。	
木造公共建築物の整備等	クオーレの里木製遊具の整備	864,000		観光施設であるクオーレの里に木製遊具（アスレチック）を整備した。																1 0.35 0.35				木製遊具（アスレチック）を整備することにより、来訪者が木に親しむことができ、森林利用への理解が深まった。	
基金積立（森林整備等）	森林整備基金積み立て	637,000		今後の森林整備や意向調査準備作業に対する費用を積み立てた。																				〇今後の森林整備や境界明確化に対する基金として積み立てた。	